

○ 平成29年度建築基準整備促進事業 新規公募調査事項について

No.	調査事項名	概要
S24	枠組壁工法中層建築物の構造設計法の合理化に関する検討	枠組壁工法の中層建築物の構造設計法の合理化のため、枠組壁工法建築物に許容応力度等計算を適用するにあたっての、課題抽出、適用範囲等の確認を行う。
S25	断面の大きい軸材料等を用いる木造建築物の技術基準に関する検討	断面の大きい軸材料等を用いる伝統的構法による木造建築物を対象として、仕様規定としての技術基準の整備のための実験的・解析的検討を行う。
S26	建築材料における回収骨材の使用に関する検討	回収骨材を使用したコンクリートのJIS認証を取得している工場・設備、使用材料等を対象に、工場での生産体制の調査・分析、回収骨材の品質の確認調査、回収骨材を使用したコンクリートの諸物性の実験的確認を行い、必要な品質が安定的に確保されていることを調査し、回収骨材のコンクリートへの使用可否を確認する。
P10	遊戯施設の客席に必要な離隔距離についての調査	乗客が他の構造物と接触することによる事故をなくすことを目的に、適切な離隔距離の考え方と円滑な運用方法の知見を得るため、現行の国内の運用実態と海外基準の比較検討や実測調査等を行う。
F12	防火設備(窓)に関する構造方法の告示化の検討	一般的に需要が見込まれる引き違い窓やすべり出し窓について、防火設備の告示仕様に追加するため、必要な調査・実験等を行う。
T3	非接触方式による外壁調査の診断手法及び調査基準に関する検討	告示において定める建築物の外壁調査方法の合理化を図るため、非接触方式による外壁調査の診断精度に関する整理・検証、無人航空機の活用を含めた効果的かつ確実な診断手法及び調査基準の検討を行う。